

13 よしな ふなばら 吉奈～船原遊歩道

吉奈温泉は奈良時代に行基上人が発見したという伊豆でも古い温泉地である。泉質はよく暖まるという古里泉で「子宝の湯」として特に有名。

修善寺駅から湯ヶ島温泉行き、昭和の森会館行き、河津駅行きのバスで21～23分、吉奈温泉口で下車。吉奈温泉まで入るバスの便もあるが極めて少ない。

小森モータースの角から吉奈川に沿って車道を一段弱で吉奈温泉のバス停。すぐ先の吉奈郵便局から右へ曲がり神龜橋を渡つて道なりに上がると湯之宮神社の前に出る。石段、またはじぐざぐと坂を上がってお参りしてこうよう。神龜元年(724)に行基上人が創建したと伝わる古社で多門天・持国天などの宝仏があるというが、拝観はできない。

隣りが善名寺(日蓮宗)。

神龜元年行基上人が建立した寺で、当時は七堂伽藍を連ねた巨刹であったが、後の大火で流失・大火で焼失し、現在の建物は大正10年に再建。

寺宝として行基作と伝わる本尊の木造薬師如来座像(県指定文化財)ほか木造釈迦如来座像(市指定文化財)・毘沙門天などの古仏像や、県指定の文化財「青銅仏鉢」などがある。仏鉢は口径20.9cm、高さ8.2cmの托鉢用の鉢で青銅製として日本で一番古いものとされている。仏像の拝観は寺に頼めば可能(志納)。

徳川家康の側室お万の方が吉奈温泉に入浴し、この寺に子宝祈願に訪れたところ、無事、紀伊大納言頼宣と水戸中納言頼房を生んだという。頼房は後の水戸光圀(テレビでねなんの水戸黄門)の父にあたる人である。

今でも「子授け守り」や「安産守り」を求める子授け祈願に訪れる参拝者は絶えない。

シカ除けの大きなかげーと前が開け、い林道をしばらく行くと前が開け、

シカ除けの大きなかげーと前が開け、

シカ除けの大きなかげーと前が開け、